

単元名 みんなで あわせて

配当時間 3時間

単元の目標 (1) 曲想とリズムなど音楽の構造との関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能や、拍に合わせてリズムを重ねて遊ぶ技能を身に付けることができる。
 (2) 旋律やリズム、拍、楽器の音色や音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴くことができる。
 (3) 聞こえてくる音やリズムに合わせて体を動かすことや、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

01070302_001

【教材名】おもちゃのチャチャチャ（歌唱） おもちゃのへいたい（鑑賞） (P. 56～P. 57)

【準備等】範唱CD、鑑賞CD

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 歌詞が表す情景を想像しながら「おもちゃのチャチャチャ」を歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「おもちゃのチャチャチャ」を、曲の気分を感じ取って歌う。 ★みんなで うたや リズムを たのしもう <ul style="list-style-type: none"> ・範唱を聴いて、曲の感じをつかむ。 ・全員で歌詞唱する。 ・「チャチャチャ」の部分は、手拍子でリズムを打ちながら歌う。 ○「おもちゃのチャチャチャ」の歌詞の表す様子を考えて歌う。 <ul style="list-style-type: none"> ・2段目と3段目の歌詞を音読する。 ・歌詞の全体の時間軸を捉える。 ・2段目、3段目の歌詞に合った体の動きを考え、身振りをしながら歌う。 ・1, 4, 5段目はリズム打ちをする。 ・身振りやリズム打ちをしながら、曲全体を歌う。 ○手拍子を打ちながら、伴奏に合わせて「おもちゃのチャチャチャ」を歌う。 ○リズムを重ねて遊ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・手拍子のリズム①② (P. 57)を確認する。 ・①と②のパートに分かれ、重ねて打ってみる。 ・拍にのって打つ。 ・<おわるとき>のリズム (P. 57)を手拍子で確認する。 ・①②のリズムを重ねて打ち、最後に<おわるとき>のリズムと一緒に打って終わる。 ○①②のリズムを声や手拍子で合わせる。 ○発表し、それぞれの工夫を共有する。 <p>3 曲の表す様子を感じ取りながら「おもちゃのへいたい」を鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「おもちゃのへいたい」を、曲の気分を感じ取って聴く <ul style="list-style-type: none"> ★おとのかさなりや リズムを かんじとって きこう ○「おもちゃのへいたい」を、体を動かしながら聴く。 <ul style="list-style-type: none"> ・拍に合わせて行進をする。 ・トランペットの音が聴こえたら吹くまねをするなど、楽器を演奏するまねをする。 ・旋律の感じや音の重なり、リズム、強弱などに合わせて、身振りをしながら行進する。 ○旋律の再現やコーダの部分に着目し、コーダの部分が表しているお話を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が親しみやすい曲なので、状況に応じて早めに歌詞唱を始めるとよい。 ・「チャチャチャ」の部分の手拍子は、自然に出てくることが多い。その表現を紹介することで、全員が取り組めるようにする。 ・歌詞を音読し、夜から朝までの時間の流れがあることに気付かせる。 ・歌詞に合った動きをしている児童がいたら、取り上げて紹介し、共有する。 ・1, 4, 5段目はリズム打ちをすることで同じ旋律が戻ってくことに気付かせる。 ・身振りはグループで考えさせてもよい。 【評】リズム打ちをしながら曲想の変化を感じ取って歌う活動を通して「知識」を評価する ・手拍子のリズムを確かめながら、楽しく歌えるようにする。 ・2種類のリズムを確認し、何度か繰り返し打たせる。 ・パートごとにまとまって打たせる。 ・<おわるとき>のリズムは「おもちゃのチャチャチャ」の最後のリズムと同じことを伝える。 ・教師の合図で<おわるとき>のリズムに入るようにする。 【共通事項】リズム 拍 ・二人組になり、いろいろな強さや速さで合わせさせる。 ・繰り返す回数を決めて取り組むように伝える ・今までの学習を振り返り、強さの工夫をさせたり、速さを変えさせたりするとよい。 ・面白いと感じた表現を紹介させる。 【評】拍に合わせてリズムを重ねる活動を通して「技能」を評価する。 ・先に曲名を知らせ「おもちゃのへいたい」が何をしているかや、どんな様子なのかを想像しながら聴くよう伝える。 ・出だしのトランペットのファンファーレに着目し、音色を確認してから聴くと音を捉えやすい。また、太鼓の音も捉えやすい。 ・拍を意識して行進させる。 【共通事項】音の重なり 【評】曲に合わせて身振りをしながら行進する活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・再現部では、トランペットのファンファーレとともに、最初の旋律が再び現れたことに気付かせる。 ・コーダは演奏によって違うこともあるが、鑑賞CDの演奏は、おもちゃが箱に戻るようになくなって終わっている。

- 考えたお話を発表し合う。
- 「おもちゃのへいたい」のよいところ，面白いところを見付けて聴く。

・再度聴かせ，よさや面白さを感じ取らせる。
 【評】旋律やリズム，拍，楽器の音色や音の重なりを聴き取り，それらが生み出すよさを話し合う活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】